

学習支援部

教務系

1 業務内容

(1) 企画

学校教育計画・年間行事計画・教育課程

(2) 学事

指導要録等諸帳簿管理・各種台帳作成管理・転出入関係書類管理・通知表
卒業証書発行・修了者名簿作成・シラバス管理

(3) 庶務

学校要覧・教科用図書・出席簿・学校日誌・各教科会小学部会

2 今年度の活動計画等

(1) シラバス作成と改善（小学部、中学部、高等部）

(2) 指導要録等帳簿管理及び整理、通知表及び出席簿、学校日誌管理

(3) 学校教育計画・学校要覧の作成

(4) 転出入関係書類管理

(5) 教科書係会・各教科会・小学部会の運営

(6) 教務内規の作成

3 今年度の主な活動実績

(1) 新教科書に対応したシラバスの作成及び改善等と府教委への提出（小学部、中学部、高等部）

(2) 長期休業中等を利用したの教務関係管理と整理（年度ごとの保管と廃棄分の処理）

(3) 学校教育計画・学校要覧を年度初めに毎年作成

(4) 校内用新転出入システムの改善

(5) 各会における業務内容の整理とサポート

(6) 内容の改訂と整理（指導要録、出席簿、学校日誌、各種書類作成手順等）

(7) 通知表様式の変更

(8) 賢者対応準備及び研修実施

進路指導系

4 今年度の活動

(1) 中学部 教科会・成績判定会議の実施スケジュール

第1回	4月2日	各教科で評価の付け方を確認。傾斜配点を決定。
第2回	7月11日	1学期の評定(全学年対象)を確認。
第3回	12月5日	3年生対象の進路評定を確認、決定。
第4回	12月15日	1・2年生対象の2学期の評定を確認。決定。
第5回	2月2日	2月15日在籍3年生対象の進路評定を確認、決定。
第6回	3月13日	3月31日在籍1・2年生対象の学年末の評定を確認、決定。

・第1回の会議で、各教科で、評定の付け方や傾斜配点を確認、決定した。

・第2回教科会を実施した日は、各部署の中学部は午前授業とした。第3回以降は、当日までに各教科で教科会を実施し、成績判定会議のみを行うこととした。

・教科会を円滑に進めるために、事前に各教科、各部署で成績評価シートを確認した。

I 校務分掌

(2) 進路希望調査

地域校との連携のため、秋ごろに刀根山支援学校に在籍する中学部3年の生徒には、必要に応じて進路希望調査を行うこととした。

(3) 進路内規について

昨年度に引き続き進路内規を活用して教科会、成績判定会議、中3生徒の交流学习などを実施した。

(4) 年間成績記録の作成

刀根山支援学校で教科会および成績判定会議で評定を出した生徒について年間成績記録を作成した。

(5) 進路指導主事の活動について

定期的に行われる支援学校部会やブロック会議に参加し、他校の進路指導主事と情報共有を行った。

各分教室と進路指導について情報を共有し、情報提供や進路対応補佐等を行った。

5 中学部の進路指導（進路指導系）

(1) 中学3年生への進路指導

各部署では担任を中心に、部長・室長、首席、管理職と情報共有し、地域校と連携を取りながら必要に応じた進路指導を行った。

(2) 卒業生への進路指導

現在、定期的なアフターケアを必要とする卒業生はいないが、必要に応じて関係機関と連携して対応を行うこととしている。

(3) 進路講話

2つの分教室で進路講話を実施した。

大阪精神医療センター分教室では「ようこそみどり先輩」として、関西医科大学総合医療センター分教室では「ようこそ先輩」として、以前、各分教室に在籍していた高校生をゲストとして迎え、入院中の思いや努力したこと、現在の進路を選んだ経緯や進学の意味などを話していただいた。また、在校生からの質問に答えてもらう時間も設けることができた。

(4) 「進路の手引き」の改定

今年度は交流学习についての項目を改定した。今後も必要に応じて改定を加えていく。

6 高等部の進路指導

今年度入学生について、担任を中心に現在の進路希望について保護者と確認した。

進路の流れを保護者と共有しながら進められるよう、担任と連携して情報収集や懇談等対応を行う。